

まほろん

通信



- ★企画展紹介
「新収蔵資料展
まほろんのニューフェイスたち」
- ★イベント紹介
まほろん感謝デー
- ★イベント報告
U-15の考古学「発掘調査で何がわかる?」関連行事
きみも考古学者レポート
- ★連載 まほろん
学芸員のひとりごと
- ★まほろん収蔵資料紹介
ミニ注口土器ズ そろいぶみ



写真：U-15実技講座「土器をつくろう 土偶をつくろう」での様子



公式YouTube



公式Instagram



新収蔵資料展

企画展紹介

ニュー

まほろんのフェイスたち

文：鶴見 諒平（主任学芸員）



△土偶の頭部（天神谷地遺跡出土）

まほろんには令和7年10月時点で約60,000箱以上の遺物が保管されています。実際の遺物の点数ではどれほどの数になるかわからないほどです。そのため、皆さんに紹介しきれない数多くの遺物が収蔵庫で出番を待っています。

この企画展では、主に令和に入ってから新たに収蔵され、まだ公開されていなかった遺物を中心に展示します。展示では、特に注目の遺物や珍しいもの、これは何だろう？というものをピックアップして紹介します。



同じお墓の穴から出土した土器
◁（栗林遺跡出土）

今回一番注目してほしいのは、下郷町栗林遺跡の出土遺物です。栗林遺跡では、縄文時代中期から後期の遺物が多く出土していて、東北地方・関東地方・北陸地方の3地域の特徴を持った土器が見つかっています。下郷町は、福島県の中でも

関東や北陸に近い地域です。そのため、栗林遺跡は遺物だけではなく、住居の中の火などからも周辺地域との関係がうかがえます。

南相馬市天神谷地遺跡から出土した土偶の頭部は、まさに今後「まほろんの顔」になってくれるかもしれない土偶です。刺青や、後頭部の飾の表現など、じっくりご覧になってください。



◁土製品（滑石遺跡出土）

須賀川市滑石遺跡から出土した土製品、これは何を表しているものだと思いますか。顔がない土偶？何かの動物を真似たもの？それともほかの何か？実際に

見ていただいて、皆さんにも考えてみてほしい遺物です。

ここまで紹介したのは全て縄文時代の遺物ですが、それ以外の時代のものも、もちろん展示します。南相馬市塚田B遺跡から出土した古墳時代の石製模造品、郡山市徳定A・B遺跡の中世の手取釜など、多くの遺物を初公開します。

ぜひ、ご来館いただき、まほろんの「ニューフェイスたち」をご覧ください。



まほろん

感謝デー

11月・2日

9:30~16:00



他にも、親子で楽しめる体験がたくさん！
アクアマリンふくしまの移動水族館や郡須高原ビジターセンター、国立郡須甲子青少年自然の家体験コーナーもあります。この2日間だけの特別なまほろんへぜひお越しください。

※一部体験メニューは日時が限られているものがございます。詳しくは当館ホームページでご確認ください。





7月26日 きもも考古学者1 「発掘調査って何？」

発掘調査経験の豊富な当館
学芸課長による、現場の土の匂
いまで伝わってきそうな発掘エ
ピソードや解説に、みなさん真
剣に耳をかたむけていました。
「こんなものが出てくるのか」
「こんなこともわかるのか」と目
を輝かせる参加者の様子も見られ
ました。

令和7年度企画展
「U-15の考古学 発掘調査
で何がわかる？」関連行事



きもも 考古学者

レポート
文：河西 久子（学芸員）



古墳に興味がある
ので、古墳時代の遺跡の発掘
調査のお話が聞けたのがうれし
かったです。出土状況から、どのよう
に葬られたか考えるのがおもしろい
そうです！

8月6日 きもも考古学者2 「出土品を調査してみよう」

白河市文化財課のご協力をい
ただき、白河市歴史民俗資料館お
よび資料整理室にて開催しまし
ました。展示室で白河市の歴史につ
いて学んだあと、土器の観察や出
土品の土を落とす「水洗い」、土
器や瓦の文様を写し取る「拓本」、
さらに出土品に情報を記す「ネー
ミング」など、文化財を後世に
伝える仕事の一端を体験しまし
ました。参加者のみなさんは講座の
終了時間を惜しむほど熱中して
いました。

縄文土器が好き
で、色々な博物館に行ってい
ます。今回は、初めて拓本体験を
しました。文様が浮き出てくるの
がおもしろかったです。また、
参加したいです！



今回は保存科学担当学
芸員として「収蔵資料の
保存」についてお話をし
てみようかと思ってい
ます。
当館では土器や石器、
木製品、金属製品など
様々な資料を収蔵してい
ます。非常に脆いものも
あるため、保存処理など
を行い、より良い状態に
後世へ引き継ぐという努
めです（保存処理につい
てはまほろん通信87号で
ご紹介しています。た
だし、保存処理さえ行え
ば永久に残存というこ
とはありません。実はそ
の後の収蔵・展示環境の
管理も重要です。展示室
で左の写真のような機器
を見たことはありません
か？
これはデータロガーと
いうで、温湿度や照度な
どを記録できる機器で
す。資料によって適切
な環境が異なるため、デ
タロガーで展示室や収蔵
庫の環境をモニタリング
し、温湿度や照度などを
管理しています。たまに
「展示室が暗い」という
ご意見を頂くことがあり
ますが、資料を保存す
るために照度を低くして
いることが原因です。また、
館内で「飲食禁止」とい
う表示を見たことはあ
りませんか？これは資料に
ダメージを与える虫やカ
ビから資料を守るための
表示です。来館者の皆様
にも「収蔵資料の保存」
にご協力いただしてい
るというわけです。
収蔵資料保存のため
のお仕事はなかなか皆様
目に触れる機会がありま
せんが、少しでも興味を
持っていたければ幸い
です。

まほろん
学芸員の
ひとりごと
第六回
文 勝川 若菜
(学芸員)

ミニ注口土器ズ ぞろいぶみ

なめいし
滑石遺跡 (須賀川市)

文：青木 愛子 (学芸員)



先日、まほろんの収蔵庫に、福島市にある資料整理室で整理作業を終えた滑石遺跡の資料が運ばれてきました。その中に、胸ときめくミニチュア土器があったのです！

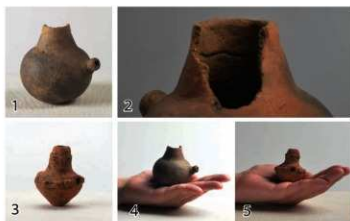
写真1の土器が、今回収蔵されたばかりの注口土器です。縄文時代後期末～晩期初め(約3,200、3,000年前)のものです。一部欠けていますが、完形に近い状態で出土しました。急須のような丸いフォルムがとても可愛らしいですね。丁寧に磨かれていて、表面がツヤツヤしているんです。高さは6.2cmで、内側を見ると、粘土紐を積んでつくられた痕があります(写真2)。

写真3は、今から30年前に行われた、同じ滑石遺跡の予備調査で見つかった注口土器です。高さは5cmで、縄文時代後期末(約3,200年前)のものとされます。頸が長く、注ぎ口は欠けています。口縁部付近と体部の中央には、それぞれ細い隆帯(粘土紐)がめぐり、小さな瘤が貼り付けられています。

今回紹介した土器はミニチュア土器と呼ばれ、その名の通り、手のひらに乗るほどの小さなサイズです(写真4・5)。普通の土器の特徴をまねたものが多く、文様をつけたり丁寧に作られたものもあります。この大きさの土器を作ること自体が難しいため、小さな土器に込めた縄文人の思いが伝わってきます。

ミニチュア土器の用途としては、①お祭りや儀式などの特別な道具 ②こどものおもちゃ ③土器づくりのための試作品 などの可能性が挙げられます。

何のために作られたのか、気になりますよね。



※紹介したミニチュア土器は10月25日開幕の「新収蔵資料展」にて展示予定です。ぜひ実物をご覧ください。

滑石遺跡

福島空港の建設に伴い、周辺調査した際にみつかった遺跡です。1995年に予備調査を行いました。当時は工事を行わず、遺跡として保存されました。

その後、2019年の台風19号による洪水被害を契機とする阿武隈川の水対策工事の一環として、遺跡内が開発されることとなり、2023年に発掘調査を行いました。縄文時代早期～晩期、平安時代の遺物が出土しています。

今後の行事予定

10/19 (日) 実技講座「大堀相馬焼体験①」	12/7 (日) 第4回館長講演会
10/25 (土)～12/14 (日)	第5回まほろん森の塾
企画展「新収蔵資料展 まほろんのニューフェイスたち」	12/14 (日) 実技講座「大堀相馬焼体験②」
11/1 (土)・11/2 (日) まほろん感謝デー	1/24 (土)～3/15 (日)
移動水族館	企画展「ふくしまの縄文・弥生時代
11/15 (土)「新収蔵資料展」関連講演会	一只見川流域の遺跡―【前期】
11/16 (日) 第4回まほろん森の塾	1/24 (土)「ふくしまの縄文・弥生時代」関連講演会1
11/29 (土) 実技講座「編み組み体験」	

※詳細はまほろんへお問合せいただくか、まほろんホームページをご覧ください。

編集後記

11月1・2日はまほろん感謝デーです。特別ゲストもやってきて、楽しい企画がいっぱいです。この機会にぜひまほろんへ！

また、まほろん館外のイベントで活動していることもあります。まほろんの出版を見つけたら、参加してみてくださいね！



まほろん
通信
vol. 97

令和7年 10月15日発行

開館時間 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日(11/3、11/24、11/12を除く)、
年末年始(12/28～1/5)、11/4、11/25、11/3

入館料 無料(体験学習によっては、材料費が必要な場合があります。)



福島県白河市白坂一里段 86

〒961-0835

☎ 0248-21-0700

Fax 0248-21-0705

ホームページ まほろん



HP

MAP